

授業アイデア（スピーチ）

レシピ2 メモを作ってスピーチをしよう（話すこと）

★ビブリオバトル

公式ルールについて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい、読みたいと思わせることを競い合うゲーム。

①発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。

②順番に1人5分間で本を紹介する。

③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。

④全ての発表が終了した後に、この本が一番読みたくなかったか？を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

ルール

①発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。

②順番に1人5分間で本を紹介する。

③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。

④全ての発表が終了した後に、この本が一番読みたくなかったか？を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

発展課題

クラスでやってみよう

準備

- ・おススメの本を1冊用意する。
- ・右ページの「本を紹介する場合」を参考に口頭を書く。

バトル

- ・4人組になり、本を見せながら紹介する。右ページの口頭を添削しながら話す。
- ・慣れたら、できればメモを見ないで話す。
- ・※5分間は短い時間。

コツ

「読んだきっかけ」を入れることで、個性が出る。

「全員の感想」を決める。

手順

2 メモを作ってスピーチをしよう

1 テーマを決めて、話したいことを書き出す。

2 具体的に伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

3 用紙する資料

4 伝える順番

1 一番伝えたいことを書く。

2 地図帳を見るのが好き

3 鳥親図が特におすすめ

4 車窓からの風景が好き

5 実際の景色と地図とを見比べると面白い

6 線路で町と町が繋がっているのがわかる

7 地図帳

8 面白さ

9 伝える順番

10 本を紹介する場合

11 ハリーポッターの魅力

12 伝える順番

13 メモを書くメリット

14 伝える順番

15 伝える順番

16 伝える順番

17 伝える順番

18 伝える順番

19 伝える順番

20 伝える順番

名前

一言コメント

4 3 2 1

チェックポイント

1 聞き手の目を見て話している。

2 声の大きさや話す速さを意識して話している。

3 話す順番を考えてメモが作られている。

4 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

〔事例〕
1年生（3月実施）
授業 1コマ（45分）

はじめに...

生徒の実態と授業の意図

本校の1年生は明るく素直で授業中の活動に積極的に参加するものの、平均的に学力が低く、集中力に欠ける生徒が多いです。また、「お気に入りの一品の紹介」をすでに授業でやっていますが、基本的なスピーチの話し方に関する理解度は依然として低いままでした。

このような生徒の実態を踏まえて、「自分の好きな先生の魅力を伝える」という子どもにとって考えやすく活動しやすいテーマを設定して「内容を組み立てて話すこと」を目標に、「話し方」を学習させるように授業を展開していきます。

授業前の準備



スピーチの授業をすることは事前に周知しました。
そのうえで、宿題で学年の先生で好きな先生を一人決めてもらい、その魅力について、前もって考えさせました。

授業の展開

★ビブリオバトル

ルール

- 発表参加者が読んで面白かった本を持ってくる。
- 順番に1人5分間で本を紹介する。
- それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを10分間行う。
- 全ての発表が終わった後に、「どの本が一番読みたいかな？」を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

ポイント

- 自分の本以外に投票すること！
- 参加者は平等！バトルなので勝っても負けてもOK！

発展課題

クラスでやってみよう

- 準備
 - おすめの本を二冊用意する。
 - 右ページの「本を紹介する場合」を参考に口頭を書く。
- バトル
 - 4人組になり、本を見せながら紹介する。右ページの目を意識しながら話す。
 - ※慣れたらできるだけメモを見ないで話そう。
 - ※最初は使い切ろう。
- コフ
 - 「読んだきっかけ」「共感したこと」などを入れていくと個性が出る。
- ▼全員回終わったら、「チャンプ本」を決める。

メモを作つたあとにやること

ポイント

▼メモを書くメリット

- 伝えたいことを組み立てられる。
- 伝えたいことを自分自身で整理できる。
- 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
- 話が脱線しなくなる。
- わかりやすく伝えることができる。

話す順番の例

【面白い】興味をもたせる
→ 【内容】伝えたいことのシンプル
← 【まとめ】おすすめなど

メモはとにかく書くだけで、基本はみんなの意見が参考になると思う。スピーチは書かなくてOK!



② 「好きな先生の魅力・面白さ」を
全体で共有します

5
分



「好きな先生の魅力・面白さ」を発表してくれる生徒を挙手させ、指名して5個前後黒板に板書します。



②の前におこないます

例えばどんな魅力を
挙げますか？

鈴木先生は話しかけやすいところが魅力



授業の展開

的に伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

4 伝えたいこと

地図帳を見るのが好き

鳥観図が特におすすめ

車窓からの風景が好き

実際の景色と地図とを見比べるのが面白い

線路で町と町が繋がっているのがわかる

2 自分伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

4 話す順番を決めていく

1 地図

2 面白さ

3 魅力を伝える。

4 記入例

1 学園生活で空を飛んだり家務したりするがよかった

2 第三巻「アスカパンの囚人」がおすすめ

3 魔法が使えたらって思う？

4 妹と映画を観た

5 使わないものには×

6 魅力

7 伝える。

8 書くメリット

9 ここを組み立てる

10 整理する

11 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。

12 話が脱線しなくなる。

13 かわかりやすく伝えることができる。

14 話す順番の例

15 「面白い」興味を引きつける

16 「内容」「伝えたいこと」「ジャンル」

17 「まとめ」おすすめなど

18 メモはできるだけ短く、基本はみんなの目から見てわかるように書いていく。

19 書き手は自分

★ビブリオバトル

公式ルールに準じて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい、競い合いとることを競いあうゲーム。

1 発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。

2 順番に1人5分間で本を紹介する。

3 それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。

4 全ての発表が終了した後、この本が一番面白かったかを基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプとする。

ルール

自分の本以外に投票すること！

参加者は平等！バトルなので勝つのも負けるのもあり！

発表課題

1 準備

2 発表

3 バトル

4 チェックポイント

5 発表の準備

6 発表の進行

7 発表の終了

8 発表の振り返り

9 発表の感想

10 発表のまとめ

11 発表の発表

12 発表の発表

13 発表の発表

14 発表の発表

15 発表の発表

16 発表の発表

17 発表の発表

18 発表の発表

19 発表の発表

20 発表の発表

21 発表の発表

22 発表の発表

23 発表の発表

24 発表の発表

25 発表の発表

26 発表の発表

27 発表の発表

28 発表の発表

29 発表の発表

30 発表の発表

31 発表の発表

32 発表の発表

33 発表の発表

34 発表の発表

35 発表の発表

36 発表の発表

37 発表の発表

38 発表の発表

39 発表の発表

40 発表の発表

41 発表の発表

42 発表の発表

43 発表の発表

44 発表の発表

45 発表の発表

46 発表の発表

47 発表の発表

48 発表の発表

49 発表の発表

50 発表の発表

51 発表の発表

52 発表の発表

53 発表の発表

54 発表の発表

55 発表の発表

56 発表の発表

57 発表の発表

58 発表の発表

59 発表の発表

60 発表の発表

61 発表の発表

62 発表の発表

63 発表の発表

64 発表の発表

65 発表の発表

66 発表の発表

67 発表の発表

68 発表の発表

69 発表の発表

70 発表の発表

71 発表の発表

72 発表の発表

73 発表の発表

74 発表の発表

75 発表の発表

76 発表の発表

77 発表の発表

78 発表の発表

79 発表の発表

80 発表の発表

81 発表の発表

82 発表の発表

83 発表の発表

84 発表の発表

85 発表の発表

86 発表の発表

87 発表の発表

88 発表の発表

89 発表の発表

90 発表の発表

91 発表の発表

92 発表の発表

93 発表の発表

94 発表の発表

95 発表の発表

96 発表の発表

97 発表の発表

98 発表の発表

99 発表の発表

100 発表の発表

③ メモを作成します

[内容]に沿って、メモを考えさせました。



10
分



〔組み立て方〕の「前置き」と「まとめ」のメモも意識的に考えさせました。

授業の展開

的に伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。
4伝えたいこと

地図帳を見るのが好き
鳥観図が特におすすめ
車窓からの風景が好き
実際の景色と地図とを見比べるのが面白い
線路で町と町が繋がっているのがわかる

記入例

2	1	4	3	×
学園生活で空を飛んだり家畜したりするがよかった	魔法が使えたらって思っ?	第三巻「アスカパンの囚人」がおすすめ	映画も続いたが本の方がよかった	妹と映画を観た

使わないものは×

例地図
の
面白さ
を伝えたい。

魅力的なことを伝えたい。

具体的な伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。
話す順番 4伝えたいこと

1	4	3	2	×
地図帳を見るのが好き	映画も続いたが本の方がよかった	魔法が使えたらって思っ?	第三巻「アスカパンの囚人」がおすすめ	妹と映画を観た

使わないものは×

話す順番の例

「面白い! 興味をもてる!」
「内巻」「エンディング」「ノンクレジット」
「まとめ」「おすすめなど」

「伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。」
「話が膨らみすぎる。」
「わかりやすく伝えることができる。」

書くメリット

書き組みが早くなる。
「いいことを自分自身で」

手順
2 ①②のメモと③の資料を使って、一分間スピーチをしよう。

3 用意する資料
を挙げよう。

① 用意する資料
を挙げよう。

② 地図帳

③ 用意する資料
を挙げよう。

④ 用意する資料
を挙げよう。

⑤ 用意する資料
を挙げよう。

⑥ 用意する資料
を挙げよう。

⑦ 用意する資料
を挙げよう。

⑧ 用意する資料
を挙げよう。

⑨ 用意する資料
を挙げよう。

⑩ 用意する資料
を挙げよう。

⑪ 用意する資料
を挙げよう。

⑫ 用意する資料
を挙げよう。

⑬ 用意する資料
を挙げよう。

⑭ 用意する資料
を挙げよう。

⑮ 用意する資料
を挙げよう。

⑯ 用意する資料
を挙げよう。

⑰ 用意する資料
を挙げよう。

⑱ 用意する資料
を挙げよう。

⑲ 用意する資料
を挙げよう。

⑳ 用意する資料
を挙げよう。

㉑ 用意する資料
を挙げよう。

㉒ 用意する資料
を挙げよう。

㉓ 用意する資料
を挙げよう。

㉔ 用意する資料
を挙げよう。

㉕ 用意する資料
を挙げよう。

㉖ 用意する資料
を挙げよう。

㉗ 用意する資料
を挙げよう。

㉘ 用意する資料
を挙げよう。

㉙ 用意する資料
を挙げよう。

㉚ 用意する資料
を挙げよう。

㉛ 用意する資料
を挙げよう。

㉜ 用意する資料
を挙げよう。

㉝ 用意する資料
を挙げよう。

㉞ 用意する資料
を挙げよう。

㉟ 用意する資料
を挙げよう。

㊱ 用意する資料
を挙げよう。

㊲ 用意する資料
を挙げよう。

㊳ 用意する資料
を挙げよう。

㊴ 用意する資料
を挙げよう。

㊵ 用意する資料
を挙げよう。

㊶ 用意する資料
を挙げよう。

㊷ 用意する資料
を挙げよう。

㊸ 用意する資料
を挙げよう。

㊹ 用意する資料
を挙げよう。

㊺ 用意する資料
を挙げよう。

㊻ 用意する資料
を挙げよう。

㊼ 用意する資料
を挙げよう。

㊽ 用意する資料
を挙げよう。

㊾ 用意する資料
を挙げよう。

㊿ 用意する資料
を挙げよう。

★ビブリアバトル

公式ルールに準じて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい、競い合いたいと思わせることを競いあうゲーム。

① 発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。

② 順番に1人5分間で本を紹介する。

③ それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを3分間行う。

④ 全ての発表が終わった後に、この本が一番面白かったか? を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

自分以外の参加者に投票する!

自分の本以外に投票する!

参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

バトルなので勝つことも負けることもあり!

発展課題

クイズをやってみよう

準備

・おすめの本を1冊用意する。
・右ページのメモを参考に、おすめの本を1冊用意する。
・おすめの本を1冊用意する。

バトル

・4人組になり、本を順番から紹介する。右ページのメモを参考に、おすめの本を1冊用意する。
・おすめの本を1冊用意する。
・おすめの本を1冊用意する。

「読んでさっさと共感したところなどをいれて、個性が出る。」

全問終わったら、
「チャンプ本を決める。」

一言コメント

1 聞き手の目を見て話している。
2 声の大きさや話す速さを意識して話している。
3 話す順番を考えてメモが作られている。
4 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

チェックポイント

メモとはとらえておいて、基本はみんなの目を見て話そう。メモは必要なら必要に。
「メモとはとらえておいて、基本はみんなの目を見て話そう。メモは必要なら必要に。」

7

④ 話す内容を頭の中で考えます

メモに順番を振らせて、追加したいことを頭で考えさせました。



5
分



授業の展開

★ビブリアバトル

公式ルールに基づいて、参加者がそれぞれおすすめる本を紹介しあい、競い合いと盛りだくさんなゲーム。

ルール

- ①発表参加者が読んで面白かった本を持ってくる。
- ②順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを3分間行う。
- ④全ての発表が終わった後に、この本が一番読みたかったか？を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

お互いに楽しい時間をなさよう！

本以外の資料はなし、語りだけで伝えよう！

原稿を準備し、読み上げたりしないで、ライブ感を大切に！

紹介でわからなかったことや質問をしたら、ここを聞きなさい！

自分以外の本に投票すること！

参加者は平等！バトルなので勝っても負けても楽しく！

▼全周終わったら、「チャンプ本」を決める。

発表課題

クラスでやってみよう

- 準備
- おすすめる本を1冊用意する。
- 右ページの「本を紹介する場面」を参考に口頭で書く。
- バトル
- 4人組になり、本を見せながら紹介する。右ページの目を確認しながら発表。
- 準備した本を、発表の後に発表しあう。
- 発表が終わったら、発表の後に発表しあう。
- 発表が終わったら、発表の後に発表しあう。

▼ポイント

メモを書くメリット

チェックポイント

- ①聞き手の目を見て話している。
- ②声の大きさや話す速さを意識して話している。
- ③話す順番を考えてメモが作られている。
- ④話したい内容がわかりやすく伝えられている。

手順

- 1 一番伝えたいことを書く。
- 2 メモを作ったスピーチをしよう
- 3 具体的な伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。
- 4 地図
- 5 面白さ

手順

- 1 一番伝えたいことを書く。
- 2 メモを作ったスピーチをしよう
- 3 具体的な伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。
- 4 地図
- 5 面白さ

手順

- 1 一番伝えたいことを書く。
- 2 メモを作ったスピーチをしよう
- 3 具体的な伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。
- 4 地図
- 5 面白さ

再度、「目標」を意識させます。
また、チェックポイントを見せて、
目標以外の話し方も意識させました。



～練習タイム～

内容はいい感じ！
もっと大きい声で話す
といいんじゃない？

〇〇先生の魅力
分かりやすく伝わったかな？



⑤4人班とは違う人に発表して
アドバイスをし合います「発表前の練習」

授業の展開

★ビブリオバトル

公式ルールに基づいて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい、競み合い、競みあうゲーム。

①発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。

②順番に1人5分間で本を紹介する。

③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。

④全ての発表が終了した後に、この本が一番読みたかったか？を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

自分の本以外に投票すること！
参加者は平等！
バトルなので勝っても負けても楽しく！

発表課題
クイズをやってみよう！

準備
・おすすめの本を1冊用意する。
・右ページの表を紹介するページを参考に口頭で書く。

バトル
・4人組になり、本を見せながら紹介する。右ページの口頭メモを参考に口頭で書く。
※慣れたらできるだけメモを見ないで話そう。
※5分間は短い。

コツ
「読んだきっかけ」を共感したところなどをいれると、個性が出る。

全員終わった後、「チャンプ本」を決める。

手順2

①②のメモと③の資料を使って、一分間スピーチをしよう。

① 用いる資料を挙げよう。 → 地図帳

② 具体的に伝えたいことを書こう。話す順番を考えて番号を入れよう。

③ 地図帳を見るのが好き

④ 鳥親図が特におすすめ

① 一番伝えたいことを書こう。

② メモを作ったスピーチをしよう

③ 本を紹介する場面

④ メモを書くメリット

⑤ ポイント

⑥ チェックポイント

～発表タイム～



⑥ 4人組で発表＋相互評価します

16分

授業の展開

⑥ 4人で発表＋相互評価します

◎○△×の4段階評価にしました。
(×は▲の方が良かったかもしれません…)

16
分

例

名前	一言コメント	4	3	2	1
A	〇〇先生は、ダンスが得意とは知らなくて面白かった。	◎	○	◎	○
B	〇〇先生と話してみたいくなる内容だった。声が少し聞き取りづらかった。	◎	△	◎	◎
C	みんなの目を見て話せていたのがよかった。エピソードも面白かった。	○	◎	○	◎
メモ					

伝えられたら次の
人の評価が書け
るように消す

○相互評価の方法：Dさんから発表したとすると…

- Dさんは、A～Cさんから評価をもらうので、先に名前を書いておく。
Dさんは発表が終わったら、Aさんから順番に評価を聞き、書きとる。
- Dさんは、Aさんたち他の人の発表を聴いている時は「メモ」に評価を書く。

DさんはAさんの発表が終わり、「メモ」に書いた評価をAさんに伝えたら、消して、Bさんの発表の時にまた評価を書けるようにする。

生徒の記入例1

知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト <https://www.bibilobattle.jp/>

★ビブリオバトル

公式ルールに基づいて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい読みたいと思わせることを競いあうゲーム。

ルール

- ①発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ②順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。
- ④全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票に参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

お互いに楽しい時間になるようにする！
本以外の資料はなし、語りだけで伝えよう！
原稿を読み上げたりしないで、ライブ感を大切に！
紹介でわからなかったことや興味をもったことをたずねよう！
自分の本以外に投票すること！
参加者は平等！バトルなので勝つても負けても楽しく！

発展課題

クラスでやってみよう

- ▼準備
・おすすめの本を一冊用意する。
・右ページの「本を紹介する場合」を参考に①②③を書く。
- ▼バトル
・4人班になり、本を見せながら紹介する。右ページの図を確認しながら話す。
※慣れたら、できるだけメモを見ないで話そう。
※5分間は使い切ろう。

コツ

「読んだきっかけ」「共感したところ」などを入れると、個性が出る。



▼全員終わったら、「チャンプ本」を決める。

名前	一言コメント	4	3	2	1
山田	声の大きさと速さを意識して話していたのが良かった。	○	○	○	△
佐藤	笑いの話をしっかりきいて、わうこえのスピーチで良い。	○	○	△	△
田中	聞いかけや、先生の工夫が新しく伝わった。	○	○	○	○

2 メモを作ってスピーチをしよう

目標

話したい内容を組み立てて、わかりやすく伝えることができる。

ポイント

▼メモを書くメリット

- 伝えたいことを組み立てられる。
- ・ 伝えたいことを自分自身で整理できる。
- ・ 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
- 話が脱線しなくなる。
- ➡ わかりやすく伝えることができる。

先生の授業の魅力

を伝えたい。

例 本を紹介する場合
ハリポッターの魅力を伝えたい。

2 具体的に伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

話す順番 ◀ 伝えたいこと

- 1 毎回の授業で、疑問形で言って、みんなに積極的に答えてほしい。
- 2 この山だけのことではなく、PPTでアンケートを取り、そのアンケートを取ったものを授業で使って、授業への意欲を高める。
- 3 漢字テストで、しょうじょうを作って、みんなへのやる気をあげている。
- 4 先生がみんなへの意欲をあげてもらうこと。
- 5 みなさんも先生の工夫を知って、先生の良さを伝えてあげてみてほしい。

3 用意する資料を挙げよう。

1 2 のメモと 3 の資料を使って、一分間スピーチをしよう。

記入例
2 学園生活で空を飛んだり変身したりする映画も観たが本の方がよかった
3 第三巻「アズカバンの囚人」がおすすめる魔法が使えたらって思う？
4 妹と映画を観た
× 使わないものは×
実物の本

話す順番の例

「聞いかけ」興味を引きつける
「内容」伝えたいことをシンプルに
「まとめ」おすすめるなど

メモはときどき見るだけにして、基本はみんなの顔を見ながら話すよう意識しよう。スピーチは慣れたよ！



チェックポイント

- 1 聞き手の目を見て話している。
- 2 声の大きさや話す速さを意識して話している。
- 3 話す順番を考えてメモが作られている。
- 4 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

生徒の記入例2

知的書評合戦にアリオバトル公式サイト <https://www.bibliobattle.jp/>

★ビブリオバトル

公式ルールに基づいて、参加者がそれぞれおすすめする本を紹介しあい、読みたいと思わせることを競いあうゲーム。

ルール

- ①発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ②順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。
- ④全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

お互いに楽しい時間になるように！
本以外の資料はなし、語りだけで伝える！
原稿を読み上げたりしないで、ライブ感を大切に！
紹介でわからなかったことや興味をもったことをたずねよう！
自分の本以外に投票すること！
参加者は平等！バトルなので勝つても負けても楽しく！

発展課題

クラスでやってみよう

- ▼準備
・おすすめの本を一冊用意する。
・右ページの「本を紹介する場合」を参考に①②③を書く。
- ▼バトル
・4人班になり、本を見せながら紹介する。右ページの④を確認しながら、話す。
※慣れたら、できるだけメモを見ないで話そう。
※5分間は使い切ろう。

コツ

「読んだきっかけ」「共感したところ」などを入れると、個性が出る。
▼全員終わったら、「チャンプ本」を決める。



レシビ

2 メモを作つてスピーチをしよう

目標

話したい内容を組み立てて、わかりやすく伝えることができる。

ポイント

▼メモを書くメリット

- 伝えたいことを組み立てられる。
- ・伝えたいことを自分自身で整理できる。
- ・伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
- 話が脱線しなくなる。
- わかりやすく伝えることができる。

話す順番の例

「聞いかけ」興味を引きつける
「内容」伝えたいことをシンプルに
「まとめ」おすすめのなど

メモはときどき見るだけでいい、基本はみんなの顔をみながら話すように意識しよう。スピーチは慣れたら！



手順

1 テーマを決めて、話したいことを書き出そう。

① 一番伝えたいことを書こう。
[例] 「魅力」「面白さ」などを伝えたい。

2 具体的に伝えたいことを書こう。話す順番を考えて番号を入れよう。

話す順番 4 伝えたいこと

- 1 分かるように話す順番で書く。
- 2 本の内容の面白さ。
- 3 声の大きさや聞きやすさ。
- 4 分かるように何でも話せる。
- 5 具体的な内容。
- 6 具体的な内容。

用意する資料を挙げよう。

手順

2 ①②のメモと③の資料を使って、一分間スピーチをしよう。

記入例

本を紹介する場合
ハリポッターの
魅力
を
伝えたい。

2 学園生活で空を飛んだり変身したりする
3 映画も観たが本の方がよかった
4 第三巻「アズカバンの囚人」がおすすめ
1 魔法が使えたらって思う？
X 妹と映画を観た
→使わないものはX
実物の本

名前	一言コメント	4	3	2	1
	アズカバンの囚人	○	○	○	○
	アズカバンの囚人	○	○	○	○
	アズカバンの囚人	○	○	○	○
	アズカバンの囚人	○	○	○	○
メモ					

チェックポイント

- ① 聞き手の目を見て話している。
- ② 声の大きさや話す速さを意識して話している。
- ③ 話す順番を考えてメモが作られている。
- ④ 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

授業の展開

⑦教師がまとめます

三段構成を意識した組み立てと、話す内容の考え方について、説明しました。



知的財産権保護委員会公式サイト <https://www.bilibattle.jp/>

★ビブリオバトル

公式ルールに基づいて、参加者がそれぞれおすすする本を紹介しあい、競み合いと想わせることを競いあうゲーム。

ルール

- 発表参加者が読んで面白かった本を持って来る。
- 順番に1人5分間で本を紹介する。
- それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分間行う。
- 全ての発表が終了した後に、「この本が一番読みたかったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

自分の本以外に投票すること！
参加者は平等！バトルなので勝っても負けても楽しく！

コツ

「読んでさっかかけ」共感したところなどを入れると、個性が出る。

「全園競わつたら、チャンプ本」を決める。

発展課題

クラスでやってみよう

- 準備
- おすすの本は1冊用意する。
- 右ページの表を紹介する場を準備し、口頭を書く。
- バトル
- 4人組になり、本を見せながら紹介する。右ページの表を添読しながら話す。
- ※慣れたら、ただの表だけメモを見ないで話す。
- ※5分間は使い切ろう。

メモを書くメリット

- 伝えたいことを組み立てられる。
- 伝えたいことを自分自身で整理できる。
- 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
- 話が脱線しなくなる。
- わかりやすく伝えることができる。

話す順番の例

「問いかけ」興味を引きつける
「内容」伝えたいことをシンプルに
「まとめ」おすすめなど

※伝えたいことを先に伝えて、後はみんなの興味を引くように話す。ストーリー性を持たせよう。

チェックポイント

- 聞き手の目を見て話している。
- 声の大きさや話す速さを意識して話している。
- 話す順番を考えてくたが作られている。
- 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

手順 2

① ② のメモと ③ の資料を使って、一分間スピーチをしよう。

③ 用意する資料
地図帳

① ② ③ ④ ⑤

① 地図帳を見るのが好き
② 鳥親図が特におすすめ
③ 車窓からの風景が好き
④ 実際の景色と地図とを見比べるのが面白い
⑤ 線路で町と町がつながっているのがわかる

② 具体的に伝えたいことを書く。話す順番を考えて番号を入れよう。

④ 話す順番 4 伝えたいこと

① 一番伝えたいことを書く。

② 地図帳の面白さを伝えたい。

③ 本を紹介する場合

ハリポッターの魅力を伝えたい。

記入例

① 学園生活で空を飛んだり変身したりするの大好き
② 映画も読んだ本の方がよかった
③ 第三巻「アズカバンの囚人」がおすすめ
④ 魔法が使えたらって思ってる
⑤ 妹と映画を観た→思ってた以上にX

実際の本

アイデア

ポイント

① メモを書くメリット

- 伝えたいことを組み立てられる。
- 伝えたいことを自分自身で整理できる。
- 伝えなくてもいいものが見つけやすくなる。
- 話が脱線しなくなる。
- わかりやすく伝えることができる。

話す順番の例

「問いかけ」興味を引きつける
「内容」伝えたいことをシンプルに
「まとめ」おすすめなど

※伝えたいことを先に伝えて、後はみんなの興味を引くように話す。ストーリー性を持たせよう。

チェックポイント

- 聞き手の目を見て話している。
- 声の大きさや話す速さを意識して話している。
- 話す順番を考えてくたが作られている。
- 話したい内容がわかりやすく伝えられている。

名前	一言コメント	④	③	②	①



授業を終えて

- ・ある程度の内容を宿題にしていたことと、テーマを簡単なものにしたこともあるが、生徒は戸惑うことなく、スピーチのメモを作成していた。また、スピーチは滞りなく行っていて、授業の流れもスムーズだった。ワークシートは教員にとっても生徒にとっても使いやすさを感じるものだった。

- ・相互評価に関しては、最初書き方のわからない班が8班中2班程度あった。説明をして修正できたものの、1回目で全員に共通した認識を持たせるのは難しいかもしれない。繰り返し行うものになるので、各先生のやりやすいやり方が2回目以降に浸透すれば良いと考える。

